



「何度も救急搬送、それでも構わないで欲しい」

平素は格別のご贔屓にあずかり、お世話になりまして誠にありがとうございます。
 今月も地域で暮らすお一人おひとりの療養生活を支えられますように、地域連携とおもてなしの心に磨きをかけて参ります。今年梅雨明けもまだなのに、連日の猛暑と異常気象の連続。地球も動物も植物も悲鳴を上げていますね在宅で熱中症、心筋梗塞、心不全のリスク予防できることはたくさんあります。①部屋の温度を適温にする。②水分(カフェインなしのもの)通常1.5リットルをこまめに摂取③栄養補給。(食べたいときに小分けで食べることもよい)④睡眠は重要で、免疫力アップを心がけ、入院につながる病気を予防しましょう。今回は、『天涯孤独、頑なに心が人の温かさで柔らかく』変化して行った事例です。入院加療を拒否早く退院させてくれと自己退院。また救急搬送を繰り返す方をこのまま在宅に退院させるわけにはいかないと病院からの依頼でした。療養者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、自分らしい生活を人生の最後まで続ける事が出来る様、地域の包括的な支援「地域連携・医療連携」が大切だと考えます。
 ホームページも毎月更新しております。『ネットワーク訪問ナースステーション』で検索すると、一番上に出てきますので、是非覗きにきてくださると嬉しいです🍻



k様。71歳、男性。要介護2。気腫合併肺繊維症。在宅酸素療法と吸入薬ほか内服薬なし。数か月前に同居していた妹が病死で独居。今回の入院を機に禁煙。自宅で低酸素状態で自ら救急車要請し日赤病院に搬送。点滴や酸素療法行方がタバコが止められず、治療を拒否し自主退院。自宅で呼吸困難。地域包括支援センター職員が発見し、都立広尾病院に救急搬送。細菌性COPD憎悪で加療入院。誤嚥もあり、嚥下時と労作時、排尿時に著しいSPO2も低下みられ、酸素療法と車椅子移動。病識の薄さや内服薬コンプライアンスの悪さがあり、せん妄もみられ、これ以上治療を望まないとの事で退院に向けて退院前カンファを行った。しかし、ご本人は「人が来るのは嫌だ。何もして欲しくない。困っていないから構わないで欲しい」というのがご意向だった。ケアマネさんが、訪問診療、訪問看護師、訪問介護とチームを作りサポート体制を作り退院後のサポートに備えていたが、決して無理強いしないでタイミングを待つことにした。まずは2週間特指示で毎日訪問看護が入り、酸素管理・禁煙指導と訪問医療介護について、人と関わることでの安心感や居心地の良さを感じて頂くことに徹した。当初は不愛想で「何も用事ないよ。苦しくないよ。大丈夫。いつ死んでもいいよ。財産は国に寄付するから」と言い、酸素も使用しないことが多く、雑然とした部屋に布団での生活をしていたが低血圧・低酸素状態継続、疲労感がない時は酸素使用せず自転車で出かけ、玄関先で喘いで呼吸する姿を発見することもあったが「疲れただけで苦しくない」と言った。決して責めることなく、受容し寄り添った。「来てくれると嬉しい安心する」と言って下さる様になり、ご本人には窮屈な病院に入院しない様に、ある程度自宅で医療管理が必要な事を理解して頂いた。禁煙も継続できている。疲れたと感じた時が苦しい事と教えた。自分で測定器を購入し数値測定で息苦しさを可視化した。酸素は吸入すると楽になることを理解できた。ヘルパーさんも受け入れることが出来、居室も整然とし気持ち良くと喜ぶようになった。人の温かみを知ったと話した。今では積極的にリハビリも開始し、呼吸状態が改善している。宝くじを買った。当たったら自宅を改築して一人で住もうかなと生きる希望を話す。在宅包括ケアチームに守られ、穏やかな生活を過ごされています。今までの人生も大事、これからの人生はもっと大事で、人に助けて頂きながら充実した日々を過ごして欲しいと願います。在宅看護で人間力を養い更に寄り添っていきたくと存じます。(橋井)

神経難病、認知症、精神疾患、がんターミナル、看護師によるリハビリ等を特に得意としております。悩んでいるご利用者に医療相談や訪問看護お試しサービスを無料で行っております。お気軽にお問い合わせください！



24時間 対応

ターミナルケア・お看取りも 対応いたします

訪問地域 **その他の地域もぜひご相談ください！**
 世田谷区
 松原・代田・代沢・豪徳寺・梅ヶ丘・宮坂・経堂・赤堤
 杉並区
 永福・和泉・浜田山・下高井戸



〒156-0043
 世田谷区松原2-41-15エテルノ203
 ネットワーク訪問ナースステーション
 TEL:03-6762-2272
 FAX:03-6767-3703
 03-6379-0684



